

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 512 号	氏名	本田 琢也
学位審査委員	主査	江口 晋	
	副査	宮崎 泰司	
	副査	高村 昇	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、最近増加している高齢者に発生する肝細胞癌の特徴を臨床疫学的に明らかにするものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>長期間観察された多数の患者データをもとに、肝細胞癌患者を診断の時点で 75 歳以上の患者とそれ未満の患者に分類し、臨床疫学的特徴、生存に関与する臨床病理学的な因子について統計学的解析を行っている。また高齢者と非高齢者の肝細胞癌発症群における生命予後を比較しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>高齢者の肝細胞癌は有意に女性に多く、単発でステージが低かった。特に正常肝からの発生が多くみられることを明らかにし、今後の加齢の発癌への関与に関する研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は肝細胞癌研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			